

子育て支援事業を終えて

江別生涯学習インストラクターの会 松山 和子

「親子で遊ぶほう☆ヒントがほしい」が、1月26日(土)野幌公民館和室にて行われました。生涯学習インストラクターの会では年に3回の講演会を持ち、多様な方々に多様な楽しさを体験してもらい、学びを深めて人生を豊かなものにするお手伝いをしています。

おだやかな冬の日に、今年の講師である第2大麻幼稚園園長近江さつき先生の優しい歌声で講座が始まりました。昨年の「ホール」から「和室」になりましたが、たまたみの密接な空間が座を優しいものにしてくれました。手遊びや、親子での遊びに潜む子育ての大切な意味などをさりげなく伝えてくださることにうなづいたり、笑顔が広がっていました。



「イクメン」のお父さんの参加も昨年の4倍子育てにはお父さんも大事なファクターです。一緒に羊毛でボールを作って遊びました。子供の持つ笑顔の力は、お手伝いしてくださった「子どもも文化ネットワーク江別」の皆さんにも伝わって、良い時間になりました。また、来年この事業が継続できることが楽しみです。

江別市スポーツ少年団 本部長旗争奪室内サッカー大会(フットサル)

江別市スポーツ少年団 指導員協議会

副会長 福士 志津男

少年団本部長旗をかけ、対雁、大麻キッカーズ、大麻ジュニア、上江別ジュニアFC、豊幌FCの5つのサッカースポーツ少年団の参加により、フットサル大会が開催されました。

12月2日(日)、9日(日)に対雁小学校体育館で4年生以下の部が、12月8日(土)、9日(日)には市民体育館において、6年生の部、5年生の部、4年生の部がそれぞれ行われ、熱戦が繰り広げられました。



結果は次のとおりです。

- 6年生の部 7チーム参加 優勝 対雁6B
- 5年生の部 5チーム参加 優勝 対雁5A
- 4年生の部 (6チーム参加) 優勝 大麻 Jr4A
- 4年生以下の部 (7チーム参加) 優勝 上江別 JrFCU4



支援事業結果

第10回土佐市江別市交流文化祭

NPO法人江別市文化協会

副理事長 立石 静夫

盛り上げよう土佐と江別の文化祭をテーマに10月28日、えぼあホールで4年振りの交流文化祭を開催いたしました。

プログラムの第1部では、土佐市から来江の30名が日舞を主に感動の舞台をご披露くださいました。

私的に感心した演目に、中学生男女2人での詩吟「白虎隊」、面白かったのが、にわか芝居「ごもとお年寄り」を大切にでした。

そして第2部は、江別市文化協会会員約150名が洋楽洋舞を主に見応えのある舞台を演出し、会場からは拍手喝采でした。

今回の第11回文化交流は土佐市での開催予定となりますが、土佐市の皆さんは再会を楽しみに江別を後にしたところで。



公開講座を終えて

江別認知症の人の

家族を支える会 東田 恵子

活動員養成講座3日間を無事終了して思うこと。

3日目の9月

15日(土)の公開講座は生涯学習

推進協議会からの御支援を賜り誠に有難う御座居ました。

野幌公民館に於いて講師「いが栗の会」会長藤本紀子様「認知症介護を終えて思うこと」と題して体験に基づく講演をしていただきました。

認知症の母親を介護し終え、一人で抱え込むのは非常に大変で、周りからサポートしてくれる人が必要と痛切に感じたことを話しておられました。それには公的支援を受けることが大事であること、また掛かった費用等は記録を残し、兄弟、姉妹間で話し合うことが必要です。講師の藤本様の場合は姉妹の協力を得られたとのことでした。講演には大勢の方々の参加があり席が足りなく皆様の関心の高さが伺われました。講演後に質疑応答があり盛会の内に終えることができました。

此れからも皆様の御支援御協力を賜りながら活動を続けて参りたいと存じます。



日中交流サロンを開催致しました

江別日中友好の会

事務局長 後藤 一昭

11月24日(土)、野幌公会堂において北海道情報大学の中国からの留学生と江別日中友好の会の会員、さらに当会が運営している中国語講座の生徒さん達との交流会を開催いたしました。

今回は、武者小路千家江別教室の方にお茶の歴史等について講演して頂き、お点前を拝見しお茶をいただきました。お点前を見る事、抹茶を飲む事は留学生にとつて全く初体験であり大変うけたまわりました。日本のお茶が中国から伝えられた事もサプライズだったようです。

催しの後半は、ビンゴゲームやゲームで交流を図りました。江別には他大学にも沢山の中国人留学生が来ており日本の事を学んでいます。興味のある方は、是非参加してみてください。中国語を喋られなくても大丈夫です。留学生が20名、他30名の参加でした。



つながった1年1年の輝き：江別まつことええ&北海道情報大学20年

江別まつことええ&北海道情報大学

代表 柏木 真紀子



2012年は結成20年、北海道情報大学と合同チームとなって10年の記念すべき年でした。加えて、6月のYOSAKOIソーラン祭りでは長年の目標でありました準YOSAKOIソーラン大賞も受賞することができ、二重三重の喜びを味わうことができました。6月以降は1人でも多くの皆様にチームやYOSAKOIの良さを観ていただきたいと願い、休日も休みなく全道全国を踊り巡りました。

今のチームがあるのは、現メンバーは無論のこと、20年間関わって下さった多くの皆様の支えのおかげと感謝の気持ちで一杯です。その皆様とも喜びを分かち合いたいと考え、20年の歴史を懐かしい写真等でまとめた記念誌を作成いたしました。各公民館や情報図書館での閲覧、販売(チームに問い合わせ)もいたしております。作成にあたりましては主旨にご賛

同いただき、江別市生涯学習推進協議会からの支援も受けることができました。心よりお礼申し上げます。

2013年は雪祭り、初の海外遠征となる台湾を皮切りに、21年目の新たな歩を力強く踏み出していきたく思います。今後とも応援よろしく願います。

支援事業が終了しました

江別生涯学習

インストラクターの会

松山 和子

今年度の「江別生涯学習インストラクターの会」の予定していた3つの事業が無事終了しました。9月1日の「街あるき江別」、11月9日の「つつにならぬ生活」、そして、1月26日の「子育て支援事業」と体験型講座型を織り交ぜた内容で、多くの方が参加してくれました。それぞれの事業を推進協議会に支援していただいたことは活動する上で大変貴重なことといたします。

会員の数を増やしていくために次年度は何をしていくべきかを考え、楽しい事業を企画しながら雪解けを待っています。あなたが学んできたことをどうぞたくさんの方々に。笑顔のたくさんあふれる江別になるといいですね。

江別に住んで

札幌学院大学

経営学部4年 田中 孝太

江別の最大の魅力は何と言っても「人」であると思います。札幌市の隣にある江別市ですが、多くの方々が江別の魅力を知ってもらおうと産官学連携で様々なイベントに取り組み、日々を送っています。他の都市よりも多くの立場の方々が協力しあいながら議論を重ね、これだけ街に真剣になっているところは多くないんじゃないかなと思います。

その中で、江別は市内に4つの大学があり、人材という面でも非常に優れていますし、特産品をうまく活用し観光資源にするなど、活動を選ばない様々な取り組みをしているからこそ、私たちのような学生も社会人の方々にご指導を頂きながら、地域の活性化という事に対して前向きに取り組んでいくのではないかなと思います。その人的魅力の取り組みは多くの学生や社会人を巻き込み、5年や10年といった期間で街が元気になる可能性を日々感じています。私自身もこれから江別市の為に日々活動し、努力していきます!!

北翔大学

短期大学部2年 清水 真希子

私は大学入学を機に地元を離れ江別市に住むことになりましたが、それまで江別という街がどんなところなのか、全く知りませんでした。

2年近く暮らして江別市内でも大麻、野幌など地区によって雰囲気があったと違うと感じました。私が住んでいる大麻は三大学があるので他大学へ気軽に遊びに行くことができ、広い交友関係を持つことができます。また、大規模小売店や商店街のある野幌へはバスで10分ほどで行くことができ、バスで新札幌まで行けば地下鉄も利用できます。

江別全体では有名な飲食店が多いことに驚きました。しかし、車がなくて行きたいお店に行けず不便を感じることもあったので市内の交通の便がもっと良くなっただけだと思っています。

そして、私が江別で一番好きなところは自然が多くて気持ちがいいところです。夏には自転車で行けるなどここに行きました。卒業してもまた、江別に遊びに来たいと思います。

酪農学園大学

3年 服部 輝

今年で江別に住んで3年目になります。初めて来たときは大きな建物がいっぱいという印象が大きかったです。千葉から来たので、江別に来たというよりは北海道に来たなという感じがしました。

江別も広いもので自転車で乗ってあちこちに行ってみると、いろんなものを発見することができました。映画館が入っているポスフルや食事ができるお店などです。初めはそういうものは、札幌に行かなくてはあまりないものだと思います。映画館が良かったです、実際は小さいけど美味しいお店や商店街といったものがあり、暮らすには十分だと思いました。特に野幌には、学生にかかせない居酒屋が多くあり、とてもいいと思います。僕はほとんど札幌には行かず江別にいます。

また、学校が密集しているという特徴もあって、他大の学生との交流が盛んなところもとても良いです。これからは江別の知らないところを見つけていければいいと思います。

北海道情報大学情報メディア学部

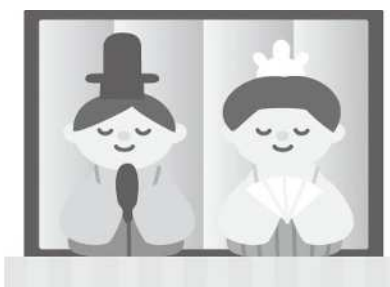
3年 小枝 祐輔

私が江別に住んでいていいなと思ったところは、大学が多く存在し、大学生をはじめとする、学生が多い点と、広く活動がしやすいことです。

江別には、私が在籍する北海道情報大学をはじめ、札幌学院大学、北翔大学、酪農学園大学の4大学があり、さまざまな特色や雰囲気を持っています。そのさまざまな学生と交流を楽しんだり、共に勉強や、地域活動を行ったりするなど、同じ地域にいる大学生同士でお友達になることができるのが魅力だと思います。

また、地域でイベントも盛んで、夏祭りやハロウィンフェスティバルなど、楽しいイベントもたくさんあります。私自身もたくさんイベントに参加し、地域の大人の方々と話す機会や、一緒にお酒を飲んだり、地域の方々との交流もすることができました。江別に住んで人と交流できる機会がたくさん増え、活動できる範囲が広がったと思います。これからも江別に愛着を持ち続けたいと思います。

「これから」イベント



●おはなしなかに

◎ひなまつり

「春が近い」ことを喜び、楽しい工作にとりくみます。

日時：3月1日(金)

10時30分～11時30分

場所：大麻公民館2階

研修室2号

●江別認知症の人の

家族を支える会

◎認知症の家族との茶会

認知症の家族と専門職(介護師)との情報交換、悩み相談。

日時：3月21日(木)

10時～12時

場所：野幌公民館

●江別市スポーツ少年団

◎第32回空手大会

日時：3月24日(日)

場所：市民体育館

江別市柔道大会

平成24年12月9日(日)青年センターで、3部門に分けて大会を行いました。

午前中は第29回江別市長杯争奪柔道大会、第31回江別市スポーツ少年団本部長旗争奪柔道大会(江別市内の各少年団対抗戦)を行いました。対抗戦は10年程前は3団体が参加して行われていましたが、最近では少子化の影響も有り、江別少年団、大麻少年団との対抗試合になっています。

午後には第59回江別市民体育大会柔道競技が行われ、江別市内の柔道愛好者が集まり、小学、中学、高校・大学・一般男子の部、高校・大学・一般女子の部に分



かれて個人戦を行いました。市内の高校・大学に柔道部が少なせいせいか参加人数は減少してきています。

この日、行われた柔道大会の市民大会の部は、平成25年度には60回を数え、今後益々発展していきように関係者同努力をしていきたいと考えております。



江別柔道連盟 佐々木 辰雄

なお、結果は次のとおりです。

◆ 幼児の部(エキシビジョン)

優勝 畠山 久瑠海(江別)

◆ 小学1年生の部

優勝 千葉 聖司(大麻)

◆ 小学2年生の部

優勝 今井 康彰(大麻)

◆ 小学3年生の部

優勝 畠山 瑠希亜(江別)

◆ 小学4年生の部

優勝 松田 賢人(大麻)

◆ 小学5年生の部

優勝 岩井 麟童(江別)

◆ 小学6年生の部

優勝 大塚 新太(大麻)

◆ 中学女子の部

優勝 藪内 亜実(大麻)

◆ 中学男子・有級の部

優勝 丹羽 福太郎(大麻)

◆ 中学男子・有段の部

優勝 鈴木 究(江別)

◆ 高校・大学・一般男子の部

優勝 長尾 深汰(北海道)

◆ 高校・大学・一般女子の部

優勝 本田 早織(江別高)

野幌商店街クリスマスウィンドーディスプレイコンテスト

野幌商店街振興組合

経済共同事業部 中谷 康夫

平成24年12月10日(月)〜25日

(火)の期間におきまして、商店街恒例の「クリスマスディスプレイコンテスト」が開催されました。

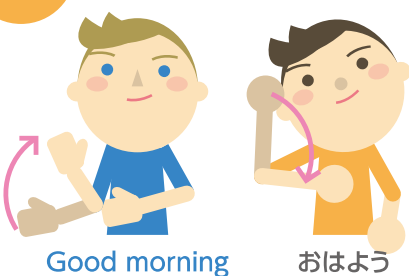
今年は28店舗の参加をいただきまして、皆さん趣向を凝らし、店舗にあるものを有効に活用して賑やかにディスプレイしておりました。

店舗コンテストには362票の投票があり、今年は初めて「兵屋さん」が優勝されました。

来年はまた各店舗の賑わいのパワーアップと参加店舗の拡充を図ってまいりたいと考えております。



What? アメリカの手話 & 日本の手話



《あしがき》

新年早々から大雪と大寒波に覆われた日本列島！各地でさまざまな被害をもたらしました。本当に長く厳しい冬でした。

しかしこの頃では花の便りもきかれます。春の訪れを楽しみに待ちましょう。

今年も激しい変化の年と予想されますが、地域の活動を通して大勢の方達と元気に交流できれば幸いです。佳一年でありますように！

渡並康子